

県有施設における電力入札の拡大について

県では、電力の自由化に対応し、平成17年10月から県本庁舎をはじめとして、4施設について、順次、入札を実施してきました。

現在実施している施設（現行の契約期間はすべて、平成27年10月から1年間）

県本庁舎	平成17年10月～
大津合同庁舎	平成27年10月～
びわこモーターボート競走場	平成27年10月～
警察本部庁舎	平成24年 4月～

今回、この取組を拡大し、可能な限りの県有施設を対象として電力入札を行います。

1 今回の電力入札の特徴

- (1) 会計管理局が、知事部局、教育委員会、警察本部の各施設における電力使用の状況を把握し、仕様書の作成から入札までを一括して行います。
- (2) 再生可能エネルギー総合推進プロジェクトの一環として、電気のグリーン購入に配慮した入札制度（※）で実施します。

※ 入札参加資格要件において、再生可能エネルギー導入状況、未利用エネルギー活用状況、二酸化炭素排出係数、需要家に対する省エネ・節電に関する情報提供の取組を考慮します。

2 入札拡大の概要

- (1) 対象施設
 - ・対象施設を4施設から101施設に拡大
- (2) 入札方法
 - ・101施設を、電力の使用形態、使用量などによって11のグループに分けて一般競争入札を実施
- (3) 調達契約期間
 - ・平成28年10月1日から平成29年9月30日まで

3 スケジュール

・公告	5月19日
・開札	6月29日
・契約、スマートメーターの取付け等	7月～9月
・供給開始	10月1日

(参考) 対象施設の内訳

知事部局	： 県本庁舎、びわこモーターボート競走場、地方合同庁舎等	52施設
教育委員会	： 総合教育センター、高等学校等	42施設
警察本部	： 警察本部庁舎、運転免許センター等	7施設